2018年
Global Compact支持・支援活動と４分野「10原則」への取り組み

フルハシEPO株式会社

FULUHASHI EPO CORPORATION

期間：2018年2月～2019年1月

～ EPOは、地球の生態系、環境を表す「Eco・Environment」と港を表す「Port」から名づけました ～

2018年 Global Compact支持・支援活動と
4分野「10原則」への取り組み

＜トップメッセージ＞

　フルハシＥＰＯは『環境』を主軸に、Global Compact(GC)の活動「4分野10原則」を持続的に支持・支援し、CSR(企業の社会的責任)活動」を積極的に行います。

当社は、GCの4つの分野「**人権・労働・環境・腐敗防止**」を目指した**CSR活動のため、3つのCSR基本方針『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに**』を掲げます。フルハシグループ企業行動憲章のもと、法令・倫理規範を遵守し、設立70年の記念すべき2018年は、「より良い社会づくりのため、これからも挑戦者であり続けます」と宣言し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対して、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、付加価値のある経営を行うことで社会的責任を果たします。

4分野10原則の遵守された世界を目指し、2016年中期計画方針にも揚げる「世のため、人のため、地球のため、社員のため」にと、未来の子供たちが安心して暮らすことのできる持続可能で良質な環境社会の創造に寄与します。

代表取締役社長　山口　直彦

＜人権原則＞
原則１：企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権擁護を支持し、尊重する。
原則２：人権侵害に加担しない。

《当社の方針》
・「人権尊重」（フルハシグループ企業行動憲章）
　あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。
・「行動規範」：基本的人権の尊重、人種、信条、性別、年齢、社会的身分、門地、民族、宗教または障害の有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為の禁止。
・「お取引先との公正・透明な取引」
　　（ＣＳＲ活動：基本方針『社会とともに』）
・「人権擁護を支持する人事」

《取り組み・活動》
１）周知
・フルハシグループ企業行動憲章、行動規範の掲示による周知。
・人権に関する意識向上のため、従業員へ行動指針カードの配布携帯の指示。
・朝礼で、行動指針カードの唱和。
・ＣＳＲ活動：基本方針を明記したリーフレットの配布（会社説明会・展示会）
２）研修・活動
・2018年4月3日　新入社員研修時に、GC４分野原則についての講習の実施。
・2018年11月21日・2019年1月25日　管理職研修で人権・ハラスメント教育の実施・報告。
・中途入社時研修（随時）で、人権を支持、尊重する人事方針を指導。
・「公正採用選考・人件啓発推進員」の選任、2018年5月・10月社外研修参加。
・ボランティア活動の推進。

《成果・評価測定》
１）研修アンケートによる従業員の人権擁護・ハラスメント意識の調査。
２）研修・教育の参加報告書の作成、提出。

＜労働原則＞
原則３：組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
原則４：あらゆる形態の強制労働を排除する。
原則５：児童労働を実効的に廃止する。
原則６：雇用と職業に関する差別を撤廃する。

《当社の方針》
・人権尊重（フルハシグループ企業行動憲章）
　あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。
・従業員の尊重（フルハシグループ企業行動憲章）
　従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、活き活きと働ける環境を実現します。
・「社員一人ひとりの多様性を尊重し、働き甲斐をもって自己実現に向かう人材育成」、「ワーク・ライフ・バランスに配慮し、働き方改革に努める」（ＣＳＲ活動：基本方針『社員とともに』）
・「公正な採用」「従業員の安全と健康を確保するための人事プログラム」

《取り組み・活動》
１）周知
・従業員の意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
・働き方改革：社内報や社内ローカルネットワークで
　育児休業・介護休業制度、短時間労働の周知
　→2018年2月男性社員の育児休業取得が実現。
・福利厚生制度によるお祝いの充実と社内報を通じて内容の周知。
２）研修・活動
・2017年7月リスク管理委員会の設置。
・2017年10月から2018年3月　朝礼等で働き方改革意識研修の実施。
・働き方改革「女性能力活用プロジェクト」
　女性活躍推進ワーキンググループ（商工会議所）へ参加。
・オアシス運動（より良い職場環境づくり活動）の促進、
　2018年4月社内表彰制度による表彰。
・雇用平等、労働の多様性、積極的な障害者雇用への促進、2018年3月、6月社外研修参加。
・　「公正採用選考・人件啓発推進員」の選任、2018年10月社外研修参加。

《成果・評価測定》
1)オアシス運動(働きやすい明るい職場活動)に対する評価(社内表彰制度)。
2)働き方改革、雇用の多様性についてのアンケート実施・報告。
(育児・介護休業、育児時短勤務、障害者・高齢者雇用など)
3)働き方改革に対する研修報告。

＜環境原則＞
原則７：環境問題の予防的なアプローチを支持する。
原則８：環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
原則９：環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

《当社の環境方針》

・「環境理念」トップ提言
（ＨＰへ掲載　http://www.fuluhashi.co.jp/environment.html　）
「私たちは地球環境と未来の子供たちのために、再生可能な資源・エネルギーのポテンシャルを引き出し、最大限に活用することによって持続可能な社会の実現を目指します。」　代表取締役　山口直彦

・「環境方針」各工場・営業所への掲示
フルハシEPOは事業の遂行にあたり、よりクリーンな経営・生産活動を目指す取り組みの基本方針として以下を定めます。社員への周知徹底に努め、公開できるようにしています。

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済に可能な範囲で環境目的・目標を定め、見直しを行い、環境マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的向上を図ります。
   ・木質バイオマスの重要性を認識し、積極的な活用を推進します。
   ・全ての部門で、ムリ・ムダ・ムラを削減、省資源・低エネルギーを推進し、業務の合理化を図ります。
   ・従業員が健康に働ける職場環境を整えるとともに、環境教育の機会を提供し、一人ひとりが環境への意識を向上し、環境保全活動を進めて行きます。
   ・環境情報の開示や発信を通して、ステークホルダーとの信頼関係を築きます。
   ・食の安全保障、再生可能エネルギーの創出、生物多様性の保全、資源の活用、地産地消に努め、持続可能な社会づくりのために必要な活動を展開します。
2. 法規制の順守はもとより、自らの責任において高い目標を設定し、その実現に努めていきます。
3. 環境への汚染をゼロに近づけるため、いっそうの環境保全に取り組みます。

この方針を達成するために、「環境安全委員会」を組織し、全員参加で環境活動を推進します。

・地球環境保全への貢献（フルハシグループ企業行動憲章）
地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

＜環境原則＞

《取り組み・活動》

１）従業員の環境意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。

２）環境・安全委員会による環境経営管理システムの構築。

３）エコアクション２１取得。工場を含め対象の全15拠点で取得。

４）あいちCO2排出量削減マニフェスト2020へ登録（2012年12月）し、目標達成むけ活動、2015年12月18日　トリプルスター取得。

５）従業員ボランティアによる森林保全活動。

６）緑化推進「花いっぱい活動」を各工場で実施。

７）環境保護製品の開発。

８）第70回全国植樹祭へ間伐材チップの寄付決定。2018年12月間伐・チップ製造開始。

《環境にやさしい技術の開発と普及を促進する事業活動》

１）再生可能エネルギーの活用～植林から再生可能エネルギーまで～

・木質バイオマス発電所の合弁事業参加、
2008年川崎バイオマス発電（株）。2017年ＣＥＰＯ半田バイオマス発電（株）設立。
併設する木質チップ供給工場を開設・運営。

２）建物の建築・解体現場から出る廃棄物の分別・回収（エアコンのフロン回収も実施）

３）間伐材の循環的有効活用

・間伐作業による資源の有効活用と森林整備の促進、木質バイオマス製造工場の設立による地域雇用の活性化事業の促進。

・間伐材を利用したパレット「森林再生パレット」の製造・販売（従来のプラスチックパレットよりCO2排出量を97%削減）

・補修による長期使用（King of REUSE)また、使用済みのパレットを回収し、木質バイオマス燃料へリサイクル

４）海域でバイオマス(海藻)を資源エネルギーとして製造およびその有効活用(食品･工業原料･医薬･バイオエタノール化等)を研究、地域活性化を図る。

5)「always ecology forever healthy」の理念のもと、地球環境と健康にこだわり、無化学肥料･無農薬栽培にこだわった米の栽培研究･促進。

川崎バイオマス発電所
木質チップ供給工場

ＣＥＰＯ半田バイオマス発電所
木質チップ供給工場

林地残材･間伐材の出材･有効活用

http://www.kawasaki-biomass.jp/

＜環境原則＞

《成果・評価測定》

１）「あいちCO2排出量削減マニフェスト」活動進捗等、外部（官公庁等）への活動実績報告。活動実績が評価され、2015年12月18日トリプルスターを取得。

２）2017年11月対象全15拠点で「エコアクション21」を取得。活動における「環境活動レポート」の作成報告。

３）毎月環境安全委員会での実績報告。

４）環境保全活動のステークホルダー等への報告「環境への約束」。

５）海域でバイオマス（海藻）を資源エネルギー有効活用研究の実績報告。提出先：富山県入善町。

６）2017年10月「エコファーマー認定」有機資材の施用と、化学肥料および農薬を低減した栽培を計画し、これが持続性の高い農業生産方式として認定。

７）2018年6月肥料として有機肥料活用促進のための「育苗システム、浮き材」特許取得。

８）百五銀行環境格付評価「先進的」。十六銀行環境格付認定「Ｓ（先進的）」。

９）省エネ法対象事業所におけるエネルギー使用量の確認・報告の実施。

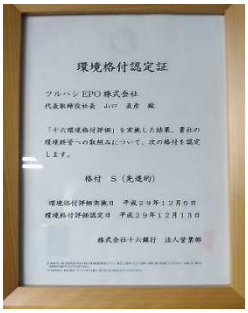
１０）2018年3月第70回全国植樹祭協賛へ愛知県実行委員会より感謝状授与。

環境格付認定書（百五銀行）

特許証（6347878号）

第70回植樹祭協賛感謝状授与

環境格付認定書（十六銀行）



エコファーマー認定（愛知県）

＜腐敗防止原則＞

原則１０：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

《当社の方針》

・校正な企業活動（フルハシグループ企業行動憲章）

公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。

・腐敗防止原則の遵守「お取引先との公正・透明な取引」

（ＣＳＲ活動：基本方針『社会とともに』）

《取り組み・活動》

１）周知

・入社時、CSR活動:基本方針を明記したリーフレットの配布。

２）活動・研修

・2017年7月リスク管理委員会の設置。（１回/2か月毎実施）

・「女性能力活用プロジェクト」

・腐敗、強要行為にたいする社内監査の実施。

・2018年10月管理者研修において、腐敗防止教育の実施（人権研修と同時）。

・正しい経費処理について社内報で社員に周知徹底。

《成果・評価測定》

１）社内監査による調査報告。

２）経費調査・会計監査による報告。

３）研修報告書の作成。

管理者研修：人権・腐敗防止教育

正しい経理処理（社内報）

From 財務部

交際接待費の経費処理について

内部統制強化のため、交際接待費の経費精算について以下の徹底を改めてお願いいたします。

「飲食代の経費精算については、5W1Hの内容を例外なく経費精算書への記載を徹底する」

・いつどこで誰と誰と参加者の会社名・職位・名前を経費精算書に明記

・何を何のために飲食・土産・会議・接待等を明記

※経費精算担当者がいる場合は、申請者に漏れなくヒアリングを行い、5W1Hのすべての内容を入力する。

※業者会や安全大会など、多数の参加企業や参加者がいて、すべての参加者情報が分からない場合に限り、領収書の他に案内状等を添付の上、参加者情報には当社から出席した社員名を入力して作成する。領収書の貼り付けも必要。

今日理解しやすくある経費・接待費・領収書等については、次回説明します。

経費精算書

科目	交際接待費		
金額	5,000円以下は外税表		
日付	摘要	数	金額(円)
	昼食・飲み代		10,000
			0
			0
			0
			0
			0
	合計金額		10,000

作成日	平成29年10月5日
承認者	吉田 太郎
担当者	鈴木 一郎
支払方法	銀行振込
内容	(1)飲食代(計4名)
目的(必要)	例○×商事接待のため

1.誰と誰の為の接待費	会社名・職位・名前
	例○×商事
	○○部長、△△主任、□□様
2.参加者情報 会社名・部課名・氏名	
	当社
	主任
3.参加者総合計人数	4名
4.申請者情報 名前/所属部	会計経理部に記載

収益性改善プロジェクト

参考資料１：フルハシグループ企業行動憲章

フルハシグループは、健全な事業活動をとおして収益性を高め、活力ある発展と社会への還元を図ります。

そのためには、関係法令の遵守はもちろんのこと、良き企業市民として社会的責任を果たし、お客さま、株主・投資家の皆さま、取引先、地域社会、従業員をはじめとした関係者からの信頼を得て、企業価値を高めることが必要だと認識しています。

一、お客さまの満足

有用で信頼性の高い商品やサービスを、安全に十分配慮して開発、提供し、お客さまの満足と信頼を獲得します。

一、新しい技術への挑戦

創造的な技術開発に挑戦し、新事業領域の開拓を行い、豊かな未来に貢献

一、公正な企業活動

公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政、との健全かつ正常な関係を保ちます。

一、情報発信

正確で十分な企業情報をわかりやすく適時かつ適正に発信し、企業活動の透明性を高めます。

一、地球環境保全への貢献

地球間への負荷を低減し、持続可能な社会づくりに貢献します。

一、地域社会との調和

国や地域の文化・慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行います。

一、社会貢献活動

社会の一員であることを深く自覚し、良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行います。

一、人権尊重

あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。

一、従業員の尊重

従業員一人ひとりの個性を尊重します。また、能力を十分に発揮でき、活き活きと働ける環境を実現します。

一、知的資産・個人情報の管理

知的資産や個人情報の価値を認識し、適正な管理を実行します。

以上

参考資料２：ＣＳＲ活動

グローバルコンパクトの４つの分野**「人権・労働・環境・腐敗防止」**を目指したCSR活動のため、３つの基本方針
『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げています。
法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。

『社会とともに』・・・お客様、お取引様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションを取り、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先との相互発展・成長のため、ビジネスパートナーとして公正・透明な取引を行います。また、地域社会の一員として積極的に社会貢献活動を展開します。

『環境とともに』・・・地球環境の保全と再生を取り組むべき重要な経営課題と捉え、事業における環境負荷提言活動に主体的に取り組み、資源の有効活用によりサステナブルな社会づくりにベストを尽くします。

『社員とともに』・・・社員一人ひとりの多様性を尊重し、働きがいをもって自己実現に向かう人材育成を目指します。ワークバランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを進めます。

参考資料３：行動指針「フルハシスピリッツ」

グローバルコンパクトの４つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」、およびCSR活動のへの従業員意識向上のため、「行動指針カード」を配布・携帯を指示しています。

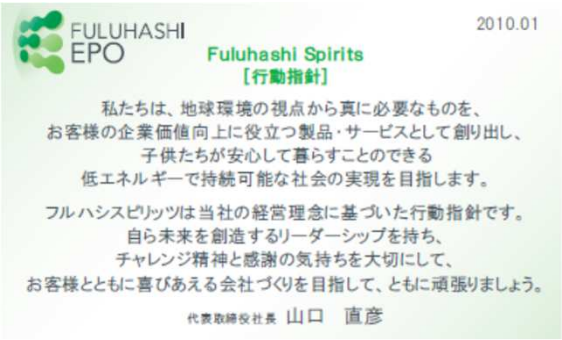
『行動指針』

・世の中にとって必要か？
・正しいか？
・環境にやさしいか？

１．新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
２．お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
３．プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
４．知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
５．豊かなこころでユーモアを忘れずに仕事を楽しみます。

≪7way Spirits≫

Fair	公明正大の心持って
Free	自由な発想で
Flexible	柔軟に
Future	未来を創造し
Fresh	新たな商品を
Fast	速やかに
Friendly	真心込めて顧客に提供する


FULUHASHI EPO

2010.01

Fuluhashi Spirits
［行動指針］

私たちは、地球環境の視点から真に必要なものを、
お客様の企業価値向上に役立つ製品・サービスとして創り出し、
子供たちが安心して暮らすことのできる
低エネルギーで持続可能な社会の実現を目指します。

フルハシスピリッツは当社の経営理念に基づいた行動指針です。
自ら未来を創造するリーダーシップを持ち、
チャレンジ精神と感謝の気持ちを大切にして、
お客様とともに喜びあえる会社づくりを目指して、ともに頑張りましょう。

代表取締役社長 山口　直彦

FULUHASHI EPO

参考資料４：「働き方改革」活動

①「あいち女性の活躍促進宣言」～女性が元気に働き続けられる愛知～

http://www.pref.aichi.jp/0000076193.html

女性の活躍促進宣言

2015 年 1 月 28 日

会社又は団体名　フルハシ EPO 株式会社
代表者氏名　代表取締役　山口　直彦

「あいち女性の活躍促進行動宣言」の趣旨を踏まえ、女性の活躍促進に向けて取り組んでまいります。

女性の活躍促進に向けた組織トップからのメッセージや今後の取組内容など、それぞれの企業・団体の実情に応じてご自由にご記載下さい。

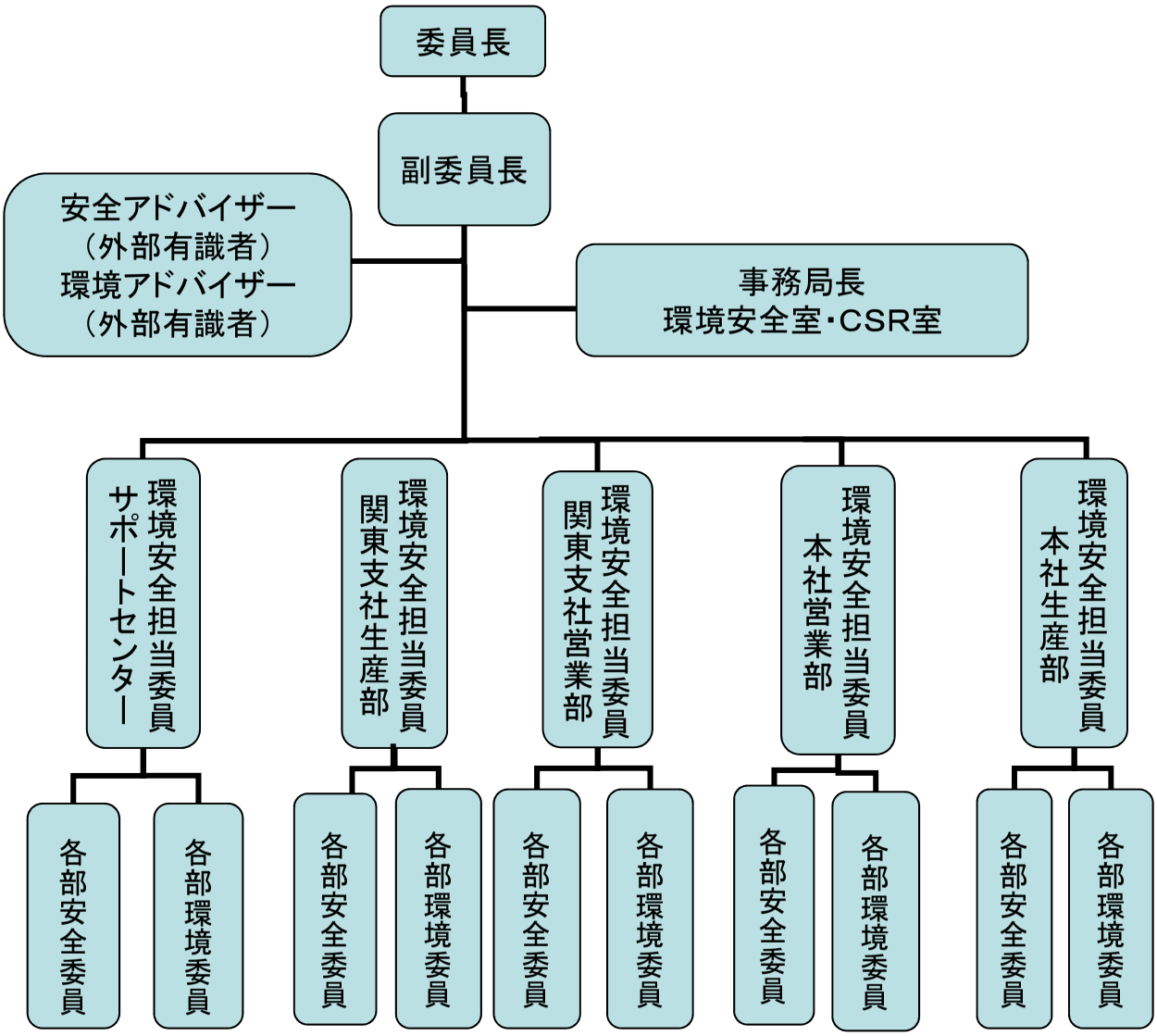
弊社は社員のワーク・ライフ・バランスを推進し、今後より一層女性が活躍できるよう企業風土の改善と意欲向上に努めます。

・女性の活躍支援について、社内の意識改革に努めます。
・働き方のダイバーシティに対応できるよう体制を整備します。
・女性能力活用のため、女性社員の意識向上と管理職の養成を図ります。

②男性社員の育児休業取得促進。

１）社内ネットワークへの掲載。
２）朝礼での紹介。

参考資料５：環境経営管理システム
環境安全委員会組織体制：2018年4月25日



参考資料６：環境安全委員会活動

「環境、品質、安全、衛生」の４つに重点を置いて活動をし、
実績の横串展開に努めています。
職場の「人権、労働」の公平さを維持するための安全確保とリスク管理、地球温暖化防止のために社内外における環境保全活動を推進しています。
また、活動内容は、毎月委員会にて報告・管理され、年１回環境安全大会にて成果のレビューをしています。

＜主な活動＞

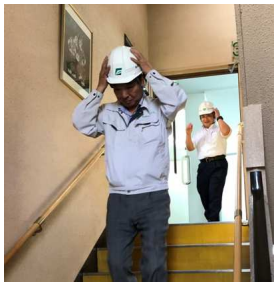
・環境保全・省エネ活動を推進。
・職場の安全衛生の確認・改善活動。
・環境安全大会による活動の見える化。
・BCPトレーニング。
・定期的な教育・ミーティング

＜委員会･発表会･訓練･環境活動の様子＞

2018年2月27日環境安全大会

事業所内BCP教育ミーティング

2018年9月1日　全社一斉防災訓練



2018年3月環境活動報告ミーティング

2018年6月環境法令チェックミーティング

参考資料７：あいちＣＯ２排出量削減マニフェスト2020

愛知県では「あいち地球温暖化防止戦略2020」を策定したことに伴い、県内の事業者が2020年に向け、自主性や創意工夫を活かしたマニフェスト（宣言）の作成を推進しています。県はそれを認証・登録し公表することにより、参加者事業者の環境活動を広く社会にＰＲできるよう、他事業者や他の地域への展開を期待する「あいちCO2排出量削減マニフェスト2020」制度に取り組んでいます。

事業所活動

●環境安全（防災）委員会を設置し、着実な環境経営を推進
●各種設備・機器の管理標準を厳守し、「ムリ・ムダ・ムラの削減」「省資源・低ネルギー化」を推進し、業務の合理化を実施
●空調機器の設定温度を適切に管理実施
●スーパー・クールビズ及びウォームビズ実施
●給湯機器について、適切な起動時間・停止時間および温度設定を実施
●照明の点灯区画の限定等による不要な点灯を削減実施
●破砕機ハンマーの新開発による効率化を実施
●OA機器の効率化の実施
●木質バイオマス発電設備［中型］の導入
●全工場にデマンド・コントローラー導入、電力管理の実施
●エコドライブ運動による燃費向上を実施

低炭素な製品・サービス

●グリーン購入（環境配慮型製品・サービス）の実施
●グリーン・ジャパン・プロジェクト　：　［ 植林からエネルギー ］
　木質バイオマス発電所［大型］による再生可能エネルギー創出
●グリーン・ジャパン・プロジェクト　：［ 植林からエネルギー ］
　森林再生事業による間伐推進、未利用間伐材の地産地消の実施
●ブルー・オーシャン・プロジェクト　：［ 海洋バイオマスの創出 ］
　海洋バイオマスの資源化技術開発を実施
●オレンジ・サン・プロジェクト　：［ 食の安全保障 ］
　生物多様性に配慮した有機農業を実施
●木質バイオマスのマテリアル・リサイクル選別を徹底

トリプルスター取得

従業員教育、社会貢献

●「環境・安全・防災 」月間活動を設置し、全従業員で取り組む
●木質バイオマスの重要性を広く普及させるため、木育活動を実施
●産官学連携により、「都市の木質化 （木製品の普及） 」を推進

〈活動・成果報告〉

当社マニフェストの内容は当社ならびに愛知県のホームページに掲載、目標達成のための活動を環境安全委員会を中心に実施、活動結果を愛知県へ報告しております。2015年12月18日トリプルスターを取得。

参考資料８：エコアクション２１認証取得

エコアクション２１はISO14001の体制や手引きの規定に加え、環境パフォーマンス評価、環境報告書の規定を統合した、PDCAを基本とした効率的で実行性のあるマネジメントシステムです。

【認証取得】
2012年12月　営業本部
2012年12月　愛知第二工場（弥富）
2013年12月　三重工場
2013年12月　飛島リサイクルパーク
2015年12月　本社
2015年12月　愛知第四工場（武豊）
2015年12月　千葉営業所・千葉リサイクルランド
2016年10月　関東支社
2016年10月　愛知第一工場（春日井）
2016年10月　愛知第五工場（清須）
2016年10月　愛知第六工場（豊田元町）
2016年10月　セントレア事業所
2016年10月　静岡営業所・静岡第一工場（掛川）
2016年10月　jonetsuYoga一社スタジオ
2017年11月　東東京営業所・東東京（松戸）工場

エコアクション21

認証登録番号 0008997

持続可能な社会を構築するためには、あらゆる主体が積極的に環境へ取り組みを実施することが必要である現在、これまで以上に一人ひとりが業務の中で、省エネルギーや資源リサイクル等、環境活動を主体的に意識し、行動していくことが必要と考えています。

＜参考：取得メリット＞

①環境経営の証
②コスト削減（要求事項遵守による業務改善）
③経営の効率化（PDCAに基づく環境経営）
④産業廃棄物処理業者として優良事業者の要件
⑤グリーン入札・入札参加資格
⑥条例による「事前協議」の免除

参考資料９：社会貢献活動等（2018年一例）

2018年8月使用済み切手約800g回収･寄付（NGOジョイセフ）

シティOL-AID　全国のシティネットワークが共同で行っているボランティア活動。

発展途上国の女性を支援する国際協力NGOジョイセフに寄付。

2018年6月・10月：農業体験会・環境学習（植樹）を実施

2018年10月24日藤前干潟清掃活動へ参加

2018年12月地域活動（雪かきボランティア）参加

2018年8月西日本豪雨災害義援金